

(公印省略)
英神支第5号
令和元年9月25日

関係高等学校長 様

兵庫県高等学校教育研究会英語部会
神戸支部長 長澤 和弥
(兵庫県立神戸北高等学校長)

第34回兵庫県高校生英語スピーチコンテスト
神戸支部予選大会参加要項等の送付について(依頼)

爽秋の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、当支部の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記のことについて下記のとおり送付いたしますので、当日の引率教員および参加生徒へお渡しいたしますよう、お願いいたします。

記

- 1 送付物 (1) 第34回兵庫県英語スピーチコンテスト
 神戸支部予選大会 参加要項
- (2) 英語付きの当日の次第
- (3) 英語スピーチ原稿の書き方(再送付)

2 その他

当大会に関するお問い合わせにつきましては、下記あてにお願いいたします。

兵庫県高等学校教育研究会 英語部会 神戸支部事務局
県立神戸北高等学校 扇蘭 尚孝
Tel: 078-981-0131 Fax: 078-981-0132

令和元年度 第34回兵庫県英語スピーチコンテスト 神戸支部予選大会 参加要項

1 日 時 令和元年10月13日(日) 《予備日 翌10月14日(月・祝)》

11:30~12:00 出場者受付

※ 出場者は、必ず12:00までに受付を済ませてください。受付時に、出場順のくじ引きを行います。

12:30~ 開会式 コンテスト

~17:00 閉会式

2 場 所 兵庫県学校厚生会館 2階 大会議室
神戸市中央区北長狭通4丁目7番34号

《アクセス》 JR/阪神 元町駅 東口から北へ徒歩約1分
地下鉄 県庁前駅から南東へ徒歩約5分
阪急 神戸三宮駅 西口から西へ徒歩約7分



3 出場者の皆さんへ

- (1) 出場者は、当日 12:00 までに受付を済ませ、出場の順番を抽選により決定しますので、くじを引いてください。出場者がこの時間内に来られない時は、代理の方がくじを引いてください。時間内にどなたも来られない場合は、事務局が代理でくじを引きますので、ご了承ください。
- (2) 受付で参加者名簿を受け取ったらすぐに、自分の名前・学校名・タイトル・学年などを確認してください。間違っている場合は、速やかに受付に申し出てください。
- (3) 当日発表するスピーチのタイトル及び内容は、事前(9月10日の申し込み時および9月27日の原稿提出時)に提出したものと同一でなくてはなりません。
- (4) 原稿は、事前にお知らせしております「英語スピーチ原稿の書き方」に従って作成してあることを、提出前に再度必ず確認してください。
- (5) 大会終了時に出場者全員の写真撮影を予定しています。撮影した写真は当大会の記録用としてのみ使用しますが、撮影に同意されない場合は、受付時に申し出てください。
- (6) 当日午前9時の時点で、神戸市に暴風・大雨・洪水のいずれかの警報が発表中の場合は中止し、翌10月14日(月)に、神戸市立葺合高校にて同じ日程で行います。

4 その他

- (1) スピーチ中に写真撮影をされる際には、フラッシュ撮影等でスピーチの進行を妨げるようなことがないように、十分にご配慮ください。
- (2) 表彰は、1位から5位まで行います。上位4名が県大会に出場できます。
- (3) 県大会は、令和元年11月2日(土)明石市民会館で開催予定です。
- (4) コンテスト中、会場内は飲食禁止ですので、ご協力ください。上履きは不要です。
- (5) ゴミは各自でお持ち帰りください。
- (6) 就学前のお子様のお入場は、ご遠慮ください。

The 34th Hyogo Prefectural High School English Speech Contest
Kobe Regional Contest
令和元年度 第34回兵庫県英語スピーチコンテスト 神戸支部予選大会

日時: 令和元年10月13日(土)
場所: 兵庫県学校厚生会館

Date: Sunday, 13th of October, 2019
Venue: Hyogo-ken Gakko Kosei Kaikan

プログラムおよび出場者一覧

Programme & Participants

11:30 出場者受付／抽選

11:30 Registration & Drawing

12:30 1. 開会

12:30 1. Opening Address

2. 開会挨拶(神戸支部長)

2. Greeting from the Kobe Region Chief

3. 審査員代表挨拶

3. Greeting from the Judge Representative

4. 審査員紹介

4. Introduction of Judges

5. 進行等説明

5. Explanation of the Contest Procedure

6. スピーチ

6. Speech Contest

7. 審査

7. Judge Conference

8. 審査員代表講評

8. Judge Representative's Comment

9. 審査結果発表と表彰

9. Announcement of the Result & Awarding

10. 閉会挨拶

10. Comment by the Sponsor

Closing Address

[審査基準]

・Content 50, English 20, Delivery 30

[制限時間]

制限時間を超えるものについては、次の基準で総合点から減点する。

■ 5分00秒～5分15秒 減点なし 《5分15秒にチャイムを鳴らす》

■ 5分16秒～5分30秒 20点減点

■ 5分31秒～ 30点減点

時計は4分30秒(青)、4分45秒(黄)、5分(赤)でカードを示し、

5分15秒でチャイムを鳴らす。(次のカードを出すまで同じカードを掲示し続ける)

[連絡事項]

- * 神戸市立高校の出場者は、神戸市立高等学校英語スピーチコンテスト入賞者です。
- * スピーチ中の写真撮影はフラッシュのご使用を控えてください。
- * 閉会式後、参加者の写真撮影を行います。
- * 就学前のお子様の入場はご遠慮ください。
- * 閉会后、スピーチ原稿集を出口に用意しています。ご自由にお持ち帰りください。
- * 11月2日(土)の県大会には上位4名が出場します。

[出場者一覧] Speakers

* 発表順は受付時の抽選で決定します。

Entry 登録順	Order 発表順	School 学校名	Name 名前	English Title 日本語タイトル
1		FUKIAI HS 市立葺合高校	(ウェブでは削除)	A Different kind of kindness 本当の優しさ
2		FUKIAI HS 市立葺合高校	(ウェブでは削除)	An Atmosphere to Evolve 出る杭は打たれない
3		FUKIAI HS 市立葺合高校	(ウェブでは削除)	Existential Vacuum 実存的空虚
4		NAGATA HS 県立長田高校	(ウェブでは削除)	Free yourself from devices 電子機器からの解放
5		NAGATA HS 県立長田高校	(ウェブでは削除)	Night School - the reflector of future society 夜間中学校が映し出すこれからの社会
6		KOBE INTERNATIONAL HS 神戸国際高校	(ウェブでは削除)	Beyond Religion 宗教を越えて
7		SEIRYO HS 県立星陵高校	(ウェブでは削除)	A Drop in the Ocean 大海の一滴
8		SHUKUGAWA HS 夙川高校	(ウェブでは削除)	My identity カメラから学んだこと
9		KOBE HS 県立神戸高校	(ウェブでは削除)	Courage to Reduce Food Loss 勇気で減らす食品ロス
10		KOBE HS 県立神戸高校	(ウェブでは削除)	Preparation I can do 私ができる準備
11		KOBE RYUKOKU HS 神戸龍谷高校	(ウェブでは削除)	What are the ingredients to lead a happy life? 素敵な人生のレシピ
12		ROKKO ISLAND HS 市立六甲アイランド高校	(ウェブでは削除)	A Way to Make Japan a Better Place for Foreigners 日本を外国人にとってより良い場所とするには
13		ROKKO ISLAND HS 市立六甲アイランド高校	(ウェブでは削除)	Remember Your Dream 夢を思い出そう
14		KOBE KOHOKU HS 県立神戸甲北高校	(ウェブでは削除)	Find your rhythm あなたのリズムを見つけよう
15		KOBE SUZURANDAI HS 県立神戸鈴蘭台高校	(ウェブでは削除)	Be yourself あなたらしくあれ
16		KOBE SUZURANDAI HS 県立神戸鈴蘭台高校	(ウェブでは削除)	Fighting in Singapore vs Staring in Japan 戦うシンガポール 対 見てるだけの日本
17		KOBE NODA HS 神戸野田高校	(ウェブでは削除)	My best friend almost killed me 私を殺しかけた友達
18		KOBE NODA HS 神戸野田高校	(ウェブでは削除)	Murder 人殺し
19		SUMA GAKUEN HS 須磨学園高校	(ウェブでは削除)	The messengers we can become 使者になるには
20		SHINWA GIRLS' HS 親和女子高校	(ウェブでは削除)	Country to Country, People to People 国対国 人対人
21		SHINWA GIRLS' HS 親和女子高校	(ウェブでは削除)	For the Future of Our Children 子どもたちの未来のために
22		TAKIGAWA HS 滝川高校	(ウェブでは削除)	Do You Want an Immortal Life? 不死になりたいですか
23		TAKIGAWA HS 滝川高校	(ウェブでは削除)	Be Positive! 積極的になろうよ

英語スピーチ原稿の書き方

高英研 神戸支部

- ・ Microsoft Word を用いて A4 判 (縦) 1 枚とする
- ・ 書 体 Century
- ・ 上下左右の余白 20 mm
- ・ 1 行の文字数 全角で 45 文字
- ・ 行 数 1 枚に収まるようにする (本文原稿 40~50 行程度)
- ・ インデント 半角 4 文字
- ・ 文 と 文 の 間 半角 2 文字

タイトル 12 ポイント (センタリング)

【1行空ける】

名前 (性別) 10.5 ポイント Family Name はすべて大文字、First Name は最初のみ大文字
日本人の場合は姓→名の順に、日本人以外は本人の希望通りに
学校名 10.5 ポイント 「~高校」は H.S.でもよい。
学年 10.5 ポイント 1st Year, 2nd Year のように表記。
※氏名 (性別)、学校名、学年は右詰め

【1行空ける】

本文 10.5 ポイント

※パラグラフ間に 1 行の空きは入れない

The diagram illustrates the layout of a speech manuscript with the following callouts:

- 12 ポイント センタリング**: Points to the title "Look Beyond the Image".
- 10.5 ポイント 日本式表記 姓はすべて大文字**: Points to the name "MORIMOTO Shona (F)".
- 右詰め**: Points to the school and year "Kokusai High School 1st Year".
- インデント 半角空白×4**: Points to the first line of the first paragraph.
- 本文 10.5 ポイント**: Points to the main body of the text.
- 文と文の間 半角空白×2**: Points to the space between two paragraphs.

The text in the diagram is as follows:

Look Beyond the Image

MORIMOTO Shona (F)
Kokusai High School
1st Year

Seven years ago I went on my first homeless feeding, run by the Catholic Social Action Center in Kobe or SAC for short. That's when I first met people who are called homeless. I was very young, so I didn't know about their situation then, but I remember thinking that they looked a bit dirty. What is your image of homeless people? A lot of people seem to have a stereotype image of them as being smelly, dirty, lazy, scary people, who have no shelter. I wondered if this is what they are really like.

Government estimates in 2011 show that there are 10,890 homeless people living in Japan, but this number does not include the growing number of "net café refugees." People become homeless for many different reasons. According to research done by the S, 56 percent lost their job,

※ 細かい指定で恐縮ですが、そのままスピーチ原稿集作成のため印刷されます。また、近畿大会出場者はこの原稿がファイルで提出されます。よろしくお願いいたします。